

和歌山

高次脳機能障害 リハビリテーション講習会

「明日へ、あきらめない」

「見過ごされてきた障害」とも言われ、外見上からはわかりにくい「生活のしづらさ」を持っている高次脳機能障害、その支援について和歌山県下における状況を報告します。

第二部では「脳は回復する」「されど愛しきお妻様」著者であり、文筆業の鈴木大介氏より自身の体験談を当事者ならではのエピソードを交えてお話いただきます。お楽しみください。

日時 2018年12月22日(土) 13:30~17:00 (受付13:00から)

※当該日の午前10時時点で和歌山市内において「大雨警報」もしくは「暴風警報」が発令中の場合は延期とします。日程については後日ご案内します。

場所 和歌山県子ども・女性・障害者相談センター 3F 多目的ホール

和歌山市毛見 1437-218 TEL: 073-445-7314 (障害者支援課)

第一部 和歌山における高次脳機能障害支援と取り組みについて
和歌山県高次脳機能障害支援普及拠点機関

第二部 高次脳機能障害者になって気づいたこと、伝えたいこと
～「辛さをないことにしない」、「病前のいつも通りを大切に」～

【講師】 鈴木 大介 氏
(文筆業 高次脳機能障害当事者)

【聞き手】 内田 嘉高 氏
(和歌山高齢者生活協同組合 専務理事
おどるんや～紀州よさこい祭り～前実行委員長)

プロフィール | 文筆業
高次脳機能障害当事者

1973年千葉産まれ・子どもや女性、若者の貧困問題をテーマにした取材活動をし「最貧困女子」(幻冬社)などを代表作とする記者だったが、2015年に脳梗塞を発症して高次脳機能障害当事者に。その後は当事者としての自身取材した闘病記「脳が壊れた」「脳は回復する」(いずれも新潮社)や、夫婦での障害受容を描いた「されど愛しきお妻様」(講談社)などを出版する。



鈴木 大介 氏

第三部 家族交流会

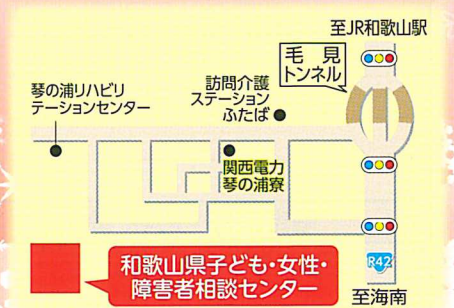
手話通訳・要約筆記あり

参加費無料

お問い合わせ・お申し込み先

主催：和歌山高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会
事務局：ワークショップ フラット 和歌山市中之島1809番地
TEL・FAX：073-423-5838 E-mail：w-flat@joy.ocn.ne.jp

定員 150名(先着順) 申し込み締め切り 12月17日(月)



あなたの身近にこのような症状の方はいませんか？

知って下さい…高次脳機能障害

聞き馴れない言葉かもしれません。

それでも一人でも多くの方に少しでもわかっていただきたいのです。

高次脳機能障害とは？

交通事故や病気などによる脳損傷に伴う記憶、注意、遂行機能障害、社会的行動障害などの後遺症のことです。

交通事故などで脳が強く傷つくような出来事の後、医学の発達で命は取り留めたものの、次のような症状が起こり、社会生活に支障をきたすようになります。

高次脳機能障害 ～よく見られる症状～

覚えられない

新しいことが覚えられない
忘れっぽいことに気づいてない
日付や場所が分からない
昔のことが思い出せない

気が散りやすい

集中できない
うっかりミスが多い
持続性に欠ける
二つのことに気が配れない

行動にまとまりがない

計画が立てられない
優先順位が決められない
段取りが悪くテキパキ要領よくできない
行動の途中で混乱する

しゃべれない

話すことや言葉の理解が難しい
書くことや読むことが難しい

どこが悪いかわからない 自覚がない

障害があることを理解できない
なんでもできていると思っている
人の意見を聞かない

こだわりが強い

気持ちが切り替えられない
同じことをし続ける
1つのことを繰り返し言い続ける

道具が使えない

動作がぎこちない
思い通りに動けない
操作手順が分からなくなる

見ているものが 分からない

見えているのに何かが分からない
知っている人の顔が見分けられない

自分では何も しようとしらない

やる気がない
動きたがらない
何でも面倒に感じる

子どもっぽくなった

人に頼る
口先ばかりで行動が伴わない
家族に代弁を求める

人間関係を作るのが苦手

相手の気持ちを察することができない
他者の落ち度を過度に指摘する
一方的な主張をする

片側を見落とす

片側にあるものに気づかない
食事を食べ残す
人や物にぶつかる
文章の左側を見落とす など

我慢ができない

いくらでも食べてしまう
先のことを考えずにお金を使う
待てない

ささいなことで怒り出す

気分がムラがある
場にそぐわない泣き笑い
一度にいろいろなことがあるとパニックを起こす

落ち込んで 何もできない

やる気が出ない
一日中横になっている
悲観的になりやすい

場所が分からない

道に迷う
場所や方向など
位置関係が分からない

★症状の説明にご利用下さい。必要な方はコピーしてお渡し下さい★

出典：神奈川県リハビリテーション支援センター 平成 18 年 3 月発行
(高次脳機能障害 相談支援の手引き～支援の導入と障害の理解～)

お申し込みは、ファックス、もしくは E-mail で参加者名・所属・職種・電話番号をご記入の上、送信して下さい。 E-mail : w-flat@joy.ocn.ne.jp

ファックスでのお申し込み **073-423-5838** (この表をそのまま送付下さい)

申し込み締め切り 12月17日(月)

参加者 氏名	どのようなお立場ですか？ ※当事者・家族・その他(職種など)	第三部 家族交流会 参加希望者は ○をご記入下さい	手話通訳が必要な場合に ○をつけて下さい
電話番号・FAX 番号	E-mail アドレス		